PRESS

2005 年 10 月 04 日まで公開禁止

21:00 日本/ST

DxO Labs、ハイエンド デジタルカメラ向け DxO Optics Pro スターター版を発表

DxO Labs は、数々の賞を受賞した DxO Optics Pro テクノロジーを、ハイエンドのデジタルカメラ ユーザー層に向けてよりリーズナブルな価格で提供開始

パリ・フランス、2005 年 10 月 04 日 DxO Labs は本日、同社の画像処理ソフトウェア「DxO Optics Pro」のハイエンド デジタルカメラ専用バージョン「DxO Optics Pro スターター版」を発表しました。
デジタル一眼レフユーザー層に定評のある、数々の賞を受賞した画質補正テクノロジーを基に開発された同製品は、以下のハイエンド デジタルカメラに対応しています：Sony DSC-H1, Sony Cyber-shot DSC-R1, Canon PowerShot Pro S2 IS, Kodak P880, Olympus SP-500, Fuji Fine Pix S9500, Nikon Coolpix 8800, Konica-Minolta Z6, Panasonic DMC-FZ30, Samsung Digimax Pro815, Konica-Minolta A2, Sony F-828 など

強力な自動画像補正

DxO Optics Pro スターター版は、同ソフトウェアがサポートするカメラ機種の画像を以下の分野で補正することができます：

- 露光およびダイナミックレンジの最適化：DxO Lighting Engine がシャドー内のディテールを最大限に引き出し、逆光画像を補正し、より明るくクリアな画像を実現
- DxO Noise Engine による最大 2 ストップゲインの画像ノイズ除去：光量が不足している環境でも、画像ノイズに悩まされない撮影が可能に
- DxO Optics Engine によるディストーション、ヴィネット（口径食）、倍率色収差、パープルフリンジなど様々な光学的欠陥の補正

これら DxO Optics Pro の画質補正テクノロジーは次の 3 つを目標に設計されています：知覚可能かつ本物の画質補正、完全な自動処理および画質を必ず向上する高い信頼性。

（詳細については DxO Lighting, DxO Noise, DxO Optics Engine のプレス用ファクトシートを参照してください）

DxO Optics Pro スターター版カメラ性能アップグレード

スターター版が持つ最先端の画質補正は DxO Labs の、カメラが持つ真の性能をモデル化する独自のテクノロジー（特許取得済み）に基づいています。サポートされているそれぞれのカメラおよびレンズは非常に細かく分析され、また同時に、数千回にもおよぶテスト撮影が行われました。これらの分析・テスト撮影結果をもとに、画質補正処理の基礎となる、カメラ性能の数学的モデルが作成されます。DxO Optics Pro スターター版は、カメラおよびレンズ自体が持つ光学的欠陥を補正することが可能なため、「カメラ本体のアップグレード」にも等しいと言えます。

完全に自動なワークフロー

DxO Optics Pro が持つもう 1 つのメリットは完全に自動化されたワークフローです。ユーザーは、補正したい画像をプログラムにドラッグ &ドロップして [開始] ボタンを押すだけで、高度かつ複雑な画質補正処理が DxO Optics Pro によって完全に自動で行われます。これには次のような大きな利点があります：

- 学習なしですぐに使いこなせる -インストール後、すぐに高度な補正機能を活用し始めることが可能
- 作業時間の大幅な短縮 - 手動による画質調整など、PC の前で費やす時間が大幅に減り、その分カメラ撮影など、より有益な作業に時間を費やすことが可能

発売スケジュールおよび価格体系

DxO Optics Pro スターター版は、Windows/マッキントッシュの両バージョンともに 2005 年 11 月に発売予定です。

初期リリースでは、JPEG 画像の補正を行うことができます。

DxO Optics Pro スターター版の販売価格は、69 ユーロ/69 米ドル（VAT および 消費税抜き）となる予定です。

DxO Labs および DxO テクノロジーについて

DxO Labs 社は、高度な画像処理テクノロジーおよび画質向上ソリューションを提供するソフトウェア会社です。DxO Labs 社が提供する様々なイメージング・ソリューションは、アマチュア・プロのフォトグラファーはもちろん、フォトジャーナリスト、モバイル通信事業者、デジタルカメラおよび携帯電話内蔵カメラ製造メーカー、写真現像業者など幅広いユーザー層に強く支持されています。
DxO Labs の DxO テクノロジー基礎（DxO Technology Foundations）は、最先端の応用数学研究をベースに開発された、非常に高度な技術です。DxO テクノロジー基礎（DxO Technology Foundations）は、イメージング・デバイスの

使用によって画像に発生する色々なマイナス効果（ぼやけ、コントラスト、モザイクパターン、ディストーション、口径食、倍率色収差、JPEG アーチファクトなど）を補正、もしくは画像を生成するソフトウェア・コンポーネント群によって構成されています。

さらに詳しい情報は、DxO Labs 社ウェブサイトをご覧ください。www.dxo.com

プレスリリースに関するお問い合わせ先

DxO Labs (フランス)
日本マーケット担当 クロード・リヴァル
crival@dxo.com　(日本語可)

Steve Rosenbaum / Leigh Grimm
SI.R.Marketing Communications, Inc. (U.S.A.)
+631-757-5665
sir@sironline.com

日本国内連絡先
CSK ベンチャーキャピタル(株)
(03)5771-6411 (大坪・金野)

DxO Labs, S.A.　3, rue Nationale　92100 Boulogne　France

DxO は DxO Labs 社の登録商標です。その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。DxO Labs は、自社のものを除いて、商標および登録商標の所有権を放棄します。